

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
期末配当の基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人および特別口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	0120-288-324 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00～17:00 (土日祝日を除く)
公告方法	電子公告により行う。
公告掲載 URL	http://www.sbigroup.co.jp/investors/koukoku/ ※ただし、事故等やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。



株主通信

SBIホールディングス株式会社

第14期中間報告書

2011年4月1日～2011年9月30日

【証券コード：8473】

オリジナルスキンケアブランド「ALApplus」誕生

保湿成分 ALA (アミノレプリン酸リン酸) 配合の保湿化粧水と保湿クリーム



アラプラス エッセンシャルローション (左)

名称：保湿化粧水 内容量：150ml 販売価格：8,400円 (税込)

アラプラス エッセンシャルローションは、お肌の水分環境を整えることによって潤いを保ち、柔らかく滑らかなお肌へ導く保湿化粧水です。

アラプラス モイスチャライジングクリーム (右)

名称：保湿クリーム 内容量：30g 販売価格：18,900円 (税込)

アラプラス モイスチャライジングクリームは、肌に贅沢な潤いを与え、しっとり、ふっくら、そしてハリのあるいきいきとしたお肌へと導く、保湿クリームです。

販売元：SBIアラプロモ株式会社 <http://www.5-ala.jp/>

ナチュラル

検索

SBIホールディングス株式会社

〒106-6019 東京都港区六本木一丁目6番1号

TEL：03-6229-0100

FAX：03-3224-1970

E-mail：inquiry@sbigroup.co.jp

〈免責事項〉

この報告書に記載されている、SBIホールディングス(株)および連結子会社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実のないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは各資料発表時点においてSBIホールディングス(株)の経営方針により、入手可能な情報およびSBIホールディングス(株)が合理的であると判断した一定の前提に基づいて作成したものです。したがって、主要市場における経済情勢やサービスに対する需要動向、為替相場の変動など、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている見通しとは、異なる結果となり得ることをご承知おきください。

新たなシナジーを生むバリュークリエーション

長期的なグループ経営強化を見据えた 組織改編を実施

SBIホールディングス株式会社
代表取締役 執行役員 CEO

北尾 吉孝



ごあいさつ

株主の皆さまには、平素より格別のご理解とご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

また、2011年3月の東日本大震災により、被災されました株主の皆さまには心よりお見舞い申し上げます。

当期の事業

当期（2011年4月～9月）における当社事業を取り巻く環境は、東日本大震災や欧州債務危機、新興諸国の経済減速等により、依然として厳しい状況にありました。7月には回復の基調を見せた国内の個人株式委託売買代金は、世界的な市況悪化の影響により、前年度上半期（2010年4月～9月）に比べて5.3%、同下半期（2010年10月～2011年3月）に比べると23.2%減少しました。

このような厳しい事業環境の中、当社の今上半期の連結業績は、売上高が636億円（前年同期比1.0%増）、営業利益が25億円（同30.3%減）、経常利益が12億円（同83.6%増）、当期純利益が11億円（同62.3%増）となり、経常利益および当期純利益において増益を達成しました。

投資関連事業において、早い段階から行っていた海外への積極投資が奏功したことや、SBI証券との連携口座など、顧客利便性の高いサービスが好評で、一昨年度開業3期目にて単年度黒字化を果たした住信SBIネット銀行（持分法適用会社）の業績が好調に推移したことなどが寄与しております。

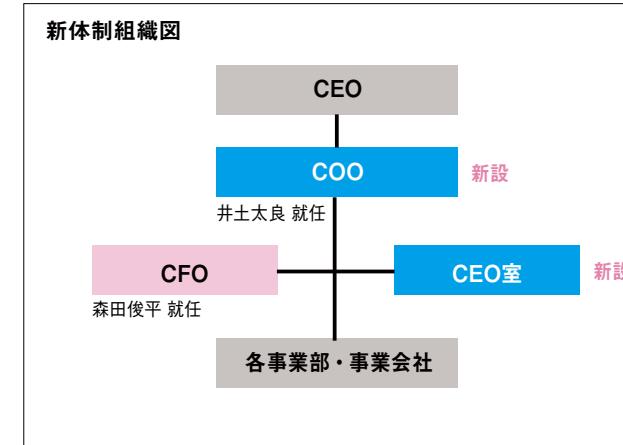
長期的な事業発展を目指して

当期における取り組みとしては、厳しさを増すと思われる今後の経営環境を見据え、引き続き全社的な経費削減に取り組むとともに、当社によるSBIペリトランス（電子決済サービス提供）の完全子会社化（8月）や、モーニングスター（投資信託情報提供）によるゴメス・コンサルティング（Webサイトの評価等）の吸収合併（7月）等を実施したほか、SBIネットシステムズ（金融システムの開発）の完全子会社化を発表するなど、抜本的な業務改善に向けて、グループ組織内の再編を継続しております。また、グループの「ブリリアントカット化」を進め、一層収益性の高い組織体を目指すとともに、より組織的に戦略を策定・実施する体制に移行し、グループの長期的な事業発展に向けた新たな戦略課題に取り組んでまいります。

また、グローバル化が進展し、世界中の国々の政治・経済が相互に影響度を増した激動の時代の中で、SBIグループが生き残り、長期的に発展していくための新たな体制づくりとして、当社は2011年10月1日付で組織改編を行いました。

このたびの組織改編では、COO職を設けるとともにCEO室を新設し、組織として戦略の策定・実施を担います。新COOにはSBI証券 前代表取締役社長の井土 太良が就任し、SBI証券を立ち上げ、国内の個人株式委託売買代金において圧倒的なシェアを誇るまでに成長させた手腕を、グループ各金融サービス事業の成長促進に最大限活かしてまいります。（SBI証券 代表取締役社長には、SBIホールディングス 前CFO 澤田 安太郎が就任）

一方、海外では香港現地法人の取締役招聘に海外パートナーも内定し、海外戦略を促進、強化する体制も整ってきております。



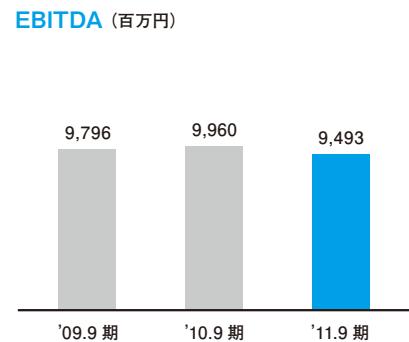
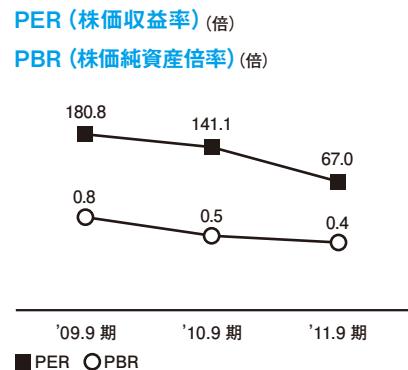
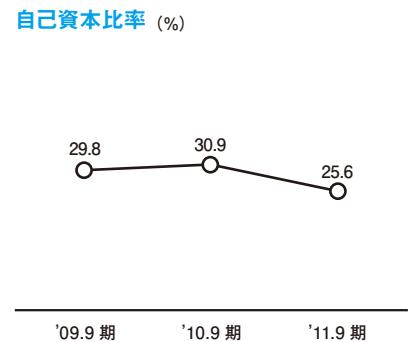
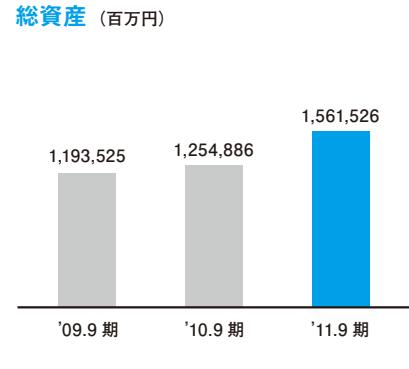
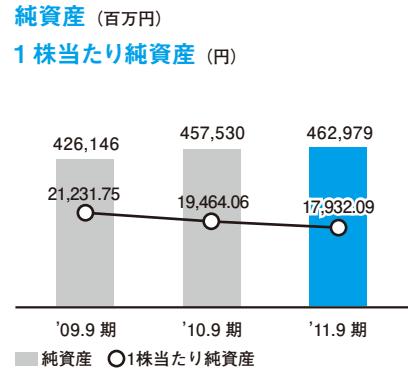
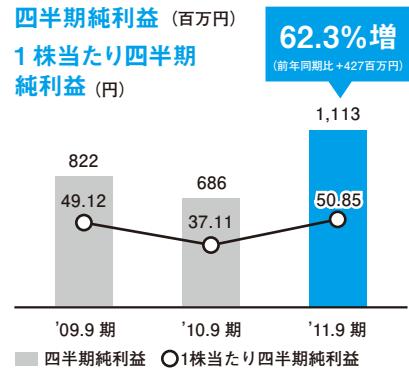
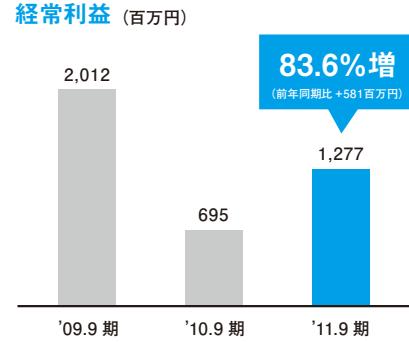
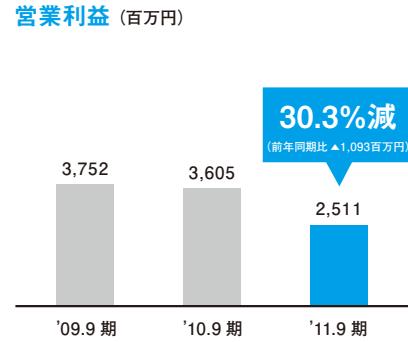
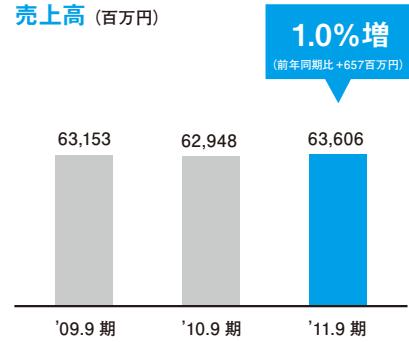
今後はこうした体制の中で、『バリュークリエーション』（価値創造）を主眼に置き、下記を重点戦略課題として取り組むことで、関連会社、投資先、国内外のパートナーとともに、SBIグループの総力をあげて長期的な事業発展を目指してまいります。

今後とも、当社事業の発展と企業価値の向上へ向けて、全役職員一同尽力してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

今後の重点戦略課題

- ① 既存事業の強化に向けた各社間のシナジーの追求
- ② 国内金融サービス事業強化のための海外金融サービス企業とのアライアンス促進
- ③ 国内グループ各社（非金融サービス事業を含む）の海外事業展開の促進
- ④ M&A 事業（クロスボーダーを含む）を促進するとともにその波及効果をグループの証券ビジネスへ取り込む
- ⑤ ネット分野の新ツールの速やかで効率的なグループ各社への導入
- ⑥ グループ会社、関連会社、投資先企業の海外における積極的な新規公開



$$PER = \frac{\text{各期末当社株式東証終値}}{\text{各期末 1株当たり四半期純利益} \times 2}$$

(2011年9月末当社株式東証終値:6,810円)

$$PBR = \frac{\text{各期末当社株式東証終値}}{\text{各期末 1株当たり純資産}}$$

$$EBITDA = \text{営業利益} + \text{減価償却費} + \text{のれん償却}$$

セグメント別
売上高構成比率

アセットマネジメント事業

売上高 **11,624** 百万円
(前年同期比 10.5% 増)

営業利益 **6,023** 百万円
(前年同期比 124.8% 増)

円高の影響はあるものの、早い段階から海外へ積極投資を行ったことが奏功し、アセットマネジメント事業の営業利益は60億円となり前年同期比124.8%増を達成しました。国内IPO市場に底入れの兆しが見られる中、SBIグループが47.4% (※IPO直後) 出資し、2011年9月27日に東証マザーズに上場したKLab(株)は、公募価格に対する初値の倍率が2.34倍になり、その後も好業績の発表で株価が堅調に推移しています。



ブローカレッジ&インベストメントバンキング事業

売上高 **22,345** 百万円
(前年同期比 7.7% 減)

営業利益 **2,093** 百万円
(前年同期比 44.6% 減)

証券業界にとっては非常に厳しい環境が続く中、SBI証券では投資信託や外債、FXなど収益源の多様化が進んでおり、第2四半期(7-9月)において先物・オプション取引の手数料や、金融収益が増加したことなどにより、第1四半期(4-6月)を上回る営業収益、営業利益、経常利益を計上しました。また、口座数、預り資産残高、シェアのすべてで引き続き競合他社を圧倒的に上回っています。



ファイナンシャル・サービス事業

売上高 **19,880** 百万円
(前年同期比 37.0% 増)

営業利益 **▲1,607** 百万円
(前年同期比 -)

モーニングスターは、前年同期比8.1%の減収となるものの吸収合併したゴメス・コンサルティングとの統合効果もあり、営業費用が13.5%減少し、全利益項目で増益を達成しました。SBIベリトランスは、売上高・営業利益・経常利益・当期純利益の全項目において過去最高を更新しました。住信SBIネット銀行は順調に顧客基盤を拡大し、経常利益は前年同期比71.9%増の25億円となり好調に推移しました。



住宅不動産関連事業

売上高 **8,154** 百万円
(前年同期比 5.1% 減)

営業利益 **1,027** 百万円
(前年同期比 14.8% 減)

SBIライフリビングは、震災直後の興行イベントの中止や延期により、「チケット流通センター」等のインターネットメディア事業の収益が一時的に減少しましたが、第2四半期(7-9月)は第1四半期(4-6月)に比べ収益が大幅に改善しました。SBIモーゲージでは、震災の影響により第1四半期(4-6月)は住宅ローン融資実行額が落ち込んだものの、第2四半期(7-9月)には順調に回復をみせ、業績についても回復基調にあります。



※システム関連事業および創業事業等については報告セグメントに含まれない「その他」の区分に集計しております。

収益力の強化に向けて

SBIグループでは現在、グループのさらなる発展に向け、収益性の高い組織体の構築を目指した「ブリリアントカット化」を推進しています。

今回の特集では、セグメントの枠を超えたグループ企業間の連携など、アセットマネジメント事業における収益力を高める取り組みについて、お伝えします。

“新産業クリエイター”として

“新産業クリエイター”として、21世紀の中核的産業の創造および育成を担うリーディング・カンパニーとなるという経営理念のもと、当社グループではIT、バイオテクノロジー、環境・エネルギー関連分野を中心に、次世代の中核的産業となるベンチャー企業への投資を行っています。ここ十数年で投資環境は大きく変化し、厳しさを増す中、投資に際し「SBIとしての強み」を出していくことがより一層求められています。

総合金融グループとしてのインフラ

SBIインベストメントでは、「フルハンズオン投資」という投資育成型の手法を採っています。

これはベンチャー企業に対し、単に資金を供給するだけでなく、役員の派遣など経営への参画も積極的に行い、経営管理の徹底を図ることで、早期の事業成長を促していくというものです。

また、SBIには総合金融グループとして、幅広いリソースを有する企業が存在しており、投資先企業の成長ステージに応じた様々なソリューションを提供することが可能です。IPO幹事業務を担うことができるSBI証券をはじめ、バックオフィス業務から海外展開まで幅広くバックアップできる企業インフラを有するベンチャーキャピタル（VC）は日本ではSBIだけ、海外でも非常に珍しい存在です。ベンチャー企業に不足しがちな経営リソースやノウハウを、SBIグループ全体で補完していくことで、一層成長を加速させていくことが可能となるのです。

主要ベンチャーキャピタルの2010年度の投資実行額

社名	投資額（億円）
SBIホールディングス	644
ジャフコ	324
みずほキャピタル	76
三菱UFJキャピタル	37
日本アジア投資	32

出所：各社ホームページ開示資料より当社にて集計



SBIホールディングス株式会社
取締役 執行役員

中川 隆

(株)富士銀行(現(株)みずほフィナンシャルグループ)を経て、当社入社。ベンチャーキャピタル(VC)投資を手がけるSBIインベストメント(株)COOを兼任。

グローバルネットワークの活用

当社は成長著しいアジア諸国を中心に海外9ヶ所に及ぶ現地法人・駐在員事務所のネットワークを持ち、また、2011年4月には当社自身も、香港証券取引所メインボード市場への上場を果たしました。こうした実績やノウハウを元に、投資先企業の海外株式市場への上場を強力なサポート体制をもってバックアップすることが可能です。

さらに、投資ファンドの設立等で培った海外の現地有力パートナーとのリレーションシップも活用し、投資先企業の海外でのビジネス支援やM&A等の施策を積極的に行うことで、投資先企業、ひいてはSBIグループ全体の企業価値の向上を目指してまいります。

SBIグループによる投資先企業支援体制



投資先企業紹介

株式会社シェアリー

<http://www.sharee.jp/>



おトクな枚数限定クーポンを、期間限定で購入できるサイトです。

シェアリーでは、有名店や地元のお店の商品・サービスを大幅な割引価格で利用できるクーポンや、ここでしか手に入らないプレミアムクーポンを購入することができます。クーポンの内容はグルメやエステ、レジャーやスクールなど様々なジャンルに及び、インターネットや口コミなどでもシェアすることができます。たくさんの方々に「シェアして感じる幸せ」を実感していただける場所、それが「シェアリー」です。

KLab株式会社

<http://www.klab.jp/>



ソーシャルゲーム開発を主力とする次世代IT(情報技術)ベンチャー

2011年9月27日、東証マザーズに上場したKLabは、ソーシャル、SI、クラウド&ライセンスという相乗効果の高い3事業を展開することで独自のポジションを獲得しているIT企業です。主力のソーシャル事業では「Mobage」「GREE」「mixi」などの大手SNS(交流サイト)向けに、育成シミュレーションゲームなど多様なタイトルを提供しています。登録ユーザー数(延べ)は1,000万人(*)を突破し、確かな成長を実現しています。

(※2011年6月時点)

連結貸借対照表(要約)(百万円)

科目	前連結 会計年度末 2011.3.31	当第2四半期 連結会計期間末 2011.9.30
資産の部		
流動資産	1,028,779	1,290,228
現金及び預金	150,268	134,920
営業投資有価証券	132,773	146,600
預託金	347,865	592,065
信用取引資産	250,399	260,983
その他	147,472	155,658
固定資産	258,926	263,800
有形固定資産	28,431	27,843
無形固定資産	140,244	139,900
投資その他の資産	90,250	96,056
繰延資産	5,900	7,497
資産合計	1,293,606	1,561,526

POINT 1 預託金、顧客からの預り金

SBI証券の株式や投資信託の買付余力に自動的に充当されるなどの機能を有する、住信SBIネット銀行のSBIハイブリッド預金が好評なため、SBI証券においてMRFの取扱いを廃止しました。それに伴い、流動負債の顧客からの預り金が大幅に増加するとともに、当該預り金に相当する金額を信託銀行等に預託しているため、流動資産の預託金も同様に増加しました。

科目	前連結 会計年度末 2011.3.31	当第2四半期 連結会計期間末 2011.9.30
負債の部		
流動負債	780,597	1,041,775
短期借入金	97,164	106,778
1年内償還予定の社債	70,060	80,060
信用取引負債	143,757	124,375
受入保証金	309,134	278,807
顧客からの預り金	37,819	312,166
その他	122,661	139,587
固定負債	50,828	52,343
特別法上の準備金	5,197	4,429
負債合計	836,623	1,098,547
純資産の部		
株主資本	397,983	416,524
その他の包括利益累計額	▲7,155	▲16,609
新株予約権	11	11
少数株主持分	66,142	63,052
純資産合計	456,982	462,979
負債純資産合計	1,293,606	1,561,526

POINT 2 資本金、資本剰余金

2011年4月、香港証券取引所への上場に伴う新株発行により、資本金ならびに資本準備金がそれぞれ84億円増加しました。また、同年8月のSBIペリトランスの完全子会社化による株式交換により、資本剰余金は33億円増加しました。

連結損益計算書(要約)(百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 2010.4.1~2010.9.30	当第2四半期 連結累計期間 2011.4.1~2011.9.30
売上高	62,948	63,606
売上原価	28,646	29,752
売上総利益	34,301	33,854
販売費及び一般管理費	30,696	31,342
営業利益	3,605	2,511
営業外収益	754	2,322
営業外費用	3,663	3,557
経常利益	695	1,277
特別利益	2,426	2,252
特別損失	3,007	750
税金等調整前四半期純利益	113	2,779
法人税等	1,391	3,074
少数株主損益調整前四半期純損失(▲)	▲1,277	▲294
少数株主損失(▲)	▲1,963	▲1,408
四半期純利益	686	1,113

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)(百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 2010.4.1~2010.9.30	当第2四半期 連結累計期間 2011.4.1~2011.9.30
営業活動による キャッシュ・フロー	▲30,034	▲34,313
投資活動による キャッシュ・フロー	▲9,793	▲11,248
財務活動による キャッシュ・フロー	32,959	33,546
現金及び現金同等物に 係る換算差額	▲1,978	▲3,485
現金及び現金同等物の 増減額(▲は減少)	▲8,847	▲15,500
新規連結等に伴う現金 及び現金同等物の増減額	▲28	677
現金及び現金同等物の 期首残高	142,581	148,786
現金及び現金同等物の 四半期末残高	133,705	133,963

POINT 3 営業外収益

持分法適用会社である住信SBIネット銀行の業績が大きく伸長し、また同じく持分法適用会社であるSBIジャパンネクスト証券の収益が改善したことから、営業外収益は前年同期と比べて3倍の23億円となりました。

会社概要 (2011年9月30日現在)

社名	SBI ホールディングス株式会社
英文表記	SBI Holdings, Inc.
本社	東京都港区六本木一丁目6番1号
事業内容	株式等の保有を通じた企業グループの統括・運営等
設立	1999年7月8日
資本金	81,663百万円
従業員数	連結 3,267名 単体 243名

役員 (2011年10月1日現在)

代表取締役 執行役員 CEO	北尾 吉孝
取締役 執行役員 COO	井土 太良
取締役 執行役員	中川 隆
取締役 執行役員	平井 研司
取締役 執行役員	朝倉 智也
取締役 執行役員	沖田 貴史
取締役 執行役員	円山 法昭
取締役 執行役員 CFO	森田 俊平
取締役 執行役員	山内 信二
取締役 執行役員	宮崎 誠
取締役 執行役員	高橋 良巳
取締役 執行役員	高柳 真樹
取締役	澤田 安太郎
取締役	城戸 博雅
取締役	木村 紀義
取締役	田坂 広志
取締役	吉田 正樹
社外取締役	永野 紀吉
社外取締役	渡邊 啓司
社外取締役	夏野 剛
社外取締役	玉木 昭宏
常勤監査役	藤井 厚司
社外監査役	島本 龍次郎
監査役	多田 稔
社外監査役	早川 久

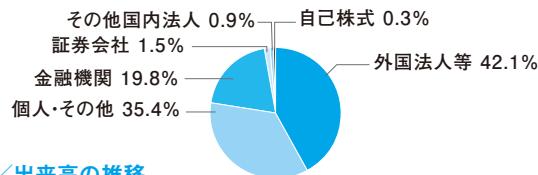
株式の状況 (2011年9月30日現在)

発行可能株式総数	34,169,000 株
発行済株式総数	22,376,234 株
株主数	198,169 名

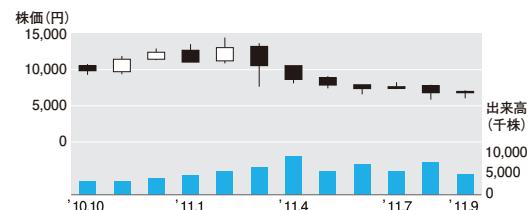
大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
シービーニューヨーク オービス ファンズ	1,957,346	8.7
シービーニューヨーク オービス エスアイシーアーヴィー	1,644,004	7.3
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口)	1,113,135	4.9
日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)	827,574	3.6
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エスエル オムニバス アカウント	671,159	2.9
北尾 吉孝	340,088	1.5
サジヤツブ	330,815	1.4
CBHK-EQUITY TRUSTEES LIMITED AS RESPONSIBLE ENTITY FOR ORBIS GLOBAL EQUITY FUND (AUSTRALIA REGISTERED)	296,812	1.3
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT-TREATY CLIENTS	262,285	1.1
日本証券金融(株)	257,257	1.1

所有者別株式分布状況



株価/出来高の推移



あなたのFP

あなたのFP

検索

<http://www.fp-guidance.jp/>

プロのファイナンシャル・プランナーが5つの視点からあなたの家計を分析!

近年、「個人の金融資産の増大」「金融の自由化」「急速な高齢化社会の到来」などを背景に、国内におけるファイナンシャル・プランナー (FP) への個人および個人事業主による相談ニーズは高まっています。



SBIライフリビング株式会社 企画推進部

金子 美晃

「あなたのFP」では、複数のFP事務所に調査を行った結果、相談実績の多かった「家計」「保険」「住宅購入」「老後」

「相続」の5つのカテゴリーを設置し、各業界に精通したFPを紹介していきます。各カテゴリーとも金融や法律の知識が必要になり、個人で解決するには難しく時間がかかってしまう問題かと思いますので、気軽に専門のFPにご相談いただければと思います。

2011年9月1日のサービス開始から1ヶ月ほどで、300名を超えるお客さまにご利用いただくなど、お客さまの反応は想定した以上に大きいです。10月以降も引き続き多くのお客さまから相談のお申込みをいただいております。今後も提携しているFP事務所の拡大や、サイトの充実を図ることで、より多くのお客さまにとって役立つサイトとなるよう努めてまいります。



あなたのFPの使い方

- 1 ご相談したいカテゴリーから「相談の申込み (電話もしくはWEB)」ボタンをクリック
- 2 お申込みフォームにご記入 (相談内容・面談日時をご指定ください)
- 3 担当FPと面談、保険相談スタート (「保険」以外のカテゴリーについては有料での相談となります)

FP(ファイナンシャル・プランナー)とは?

FPとは簡単に言うと「金融商品(※)に精通した家計の見直しの専門家」です。顧客の「収入・支出」「資産・負債」「家族構成」などの基礎情報を基に目標に向けて総合的な資金管理設計を立て、将来と一緒に考える「お金の計画アドバイザー」と考えてください。

(※銀行、証券、生命保険、損害保険、不動産、税制、年金制度など)